

令和2年度 社会福祉法人志純会法人本部事業報告

1 事業概要

志純会の理念「和と絆を尊ぶ」ことをモットーとして、ご利用者一人ひとりの気持ちに添った満足度の高いサービスを提供すること、地域との連携を重視した開かれた施設運営に努めること、組織作り・人材育成に力点を置き、経営の持続的発展を目指すこと、の三つの方向を意識して老人福祉サービスの提供を中心に事業に取り組んできた。みなかみ町の特別養護老人ホームやまぶきの苑と渋川市赤城町の老人保健施設からたちの丘の二つの拠点で幅広くサービスの展開を続けている。

2 運営上の留意点

令和2年7月に寄付申込を受け、臨時理事会を開催して、ホテルニュー上牧の施設(土地、建物)を受け入れることとした。介護職員の不足状態を改善するため、外国人介護人材の雇用を進めているが、職員の定着を図るためには職員寮が必須であり、受け入れ施設を主に職員寮・職員研修施設として活用する方向で計画を進めてきた。現在、外国人留学生2名(比)が卒業し、利用を始めている。

また、社会福祉法人への「地域における公益的な取組」の実施の責務化に対応し、一昨年度「群馬県ふくし総合相談支援事業」に参加している。まだ目立った動きはないが、相談員の研修に参加して体制を整えたところだ。今後は、職員寮等で受け入れた施設の空きスペースを地域に開放するなど、更に対応の幅を広げていきたい。

財務状況に関しては、コロナ禍の影響もあって、全体に稼働が落ちている中で、特に特養・短期入所の稼働が大きく落ち込んでいる。重度化の影響を受け、高医療依存傾向による入院の増加や、入退所のサイクルが早まるなどの環境の変化に充分対応できず、収入が予定を大きく下廻った。医療機関との連携を更に強化するなどの取り組みにより、やや改善の兆しは見えてきているが、更なる改善が必要である。

また、老健は規模が小さく経営効率が悪いため、相変わらず収益はマイナスの状況が続いている。特養の収益の下降と併せて、法人全体で現預金残高の率が全国平均を下回る所まできており、今後抜本的な対応策の構築を急ぐ必要がある。

雇用管理では、勤務評価制度を導入し、評価を処遇に反映させるしくみも含め定着してきており、引き続き取組を継続していく。処遇改善加算・特定処遇改善加算の算定もともに続けており、職員の意識にも定着し、一定の効果が見られている。

3 理事会等開催状況

(1) 理事会・評議員会・監事監査

・役員等定数 理事 9名 監事 2名 評議員 10名 評議員選任・解任委員 3名

期日	審議事項等
R2.5.27 監事監査	自主点検表の報告 事業報告及び計算書類並びに財産目録の監査 監査報告書の作成
R2.6.9 第1回 理事会	理事長の職務執行状況報告 令和元年度社会福祉法人志純会事業報告について 令和元年度社会福祉事業会計決算について 令和元年度公益事業(介護老人保健施設)会計決算について 令和元年度公益事業(人材育成)会計決算について 令和元年度収益事業会計決算について (監事監査結果報告) 令和2年度定時評議員会の開催について

R2.6.24 定時評議員会	令和元年度社会福祉法人志純会事業報告について 令和元年度社会福祉事業会計決算について 令和元年度公益事業(介護老人保健施設)会計決算について 令和元年度公益事業(人材育成)会計決算について 令和元年度収益事業会計決算について
R2.7.14 臨時理事会	寄附の受け入れについて
R3.3.24 第2回 理事会	理事長の職務執行状況報告について 令和2年度社会福祉事業会計補正予算について 令和2年度公益事業(介護老人保健施設)会計補正予算について 令和3年度社会福祉法人志純会事業計画について 令和3年度社会福祉事業会計当初予算について 令和3年度公益事業(介護老人保健施設)会計当初予算について 令和3年度公益事業(人材育成)会計当初予算について 令和3年度収益事業会計当初予算について 評議員選任及び解任委員の選任について

(2) その他会議

- ・役員会の開催（不定期）
- ・法人実務者会議の開催（毎週火曜日）
- ・上牧温泉病院との連絡調整会議（毎週月曜日）
- ・財務検討会議の開催（毎月最終火曜日）

4 人事関係

(1) 職員採用

安定した施設運営、職員が働きがいを持つことができる職場づくりを目指して、継続的に事業運営ができる職員体制の整備に努めた。

区 分	採 用			退 職		
	やまぶきの苑	からたちの丘	計	やまぶきの苑	からたちの丘	計
管理職員			0			0
介護職員 常勤	3	1	4	3	1	4
非常勤	2		2	1		1
看護職員 常勤		1	1		1	1
非常勤	2		2			0
その他 常勤			0		1	1
非常勤	2		2	2	1	3
合計	9	2	11	6	4	10

(2) 人事面接及び勤務評価

今年度も引き続き、法人本部として全職員から自己申告書を徴し、職場環境の問題点や人事異動に関する希望、これからのキャリア形成についての申告を受けた。

また、勤務評価を実施し、「志純会の求められる職員像」を評価基準として、各セクション単位で、自己評価→一次評価→二次評価→最終評価の順に進めた。二次評価は各課長が直接面談をしたうえで評価している。最終評価の後、自己申告書の聞き取り・助言を含め、法人本部として面接を行い、自己評価と最終評価を対比できる形で本人に戻した。評価結果は定期昇給の昇給幅に反映されている。職員の意識の中にも一定の定着が見られており、今後も見直しをしながら継続していきたい。

5 福利厚生

慶弔見舞規程等に基づき、次のとおりお祝い金等を贈呈した。

・慶弔見舞い関係	5 件	21,000 円
・永年勤続関係	9 件	90,000 円

6 施設整備等

(1) 大規模修繕

100万円を超えるような大規模修繕は執行していない。

(2) その他整備

車両整備(やまぶきの苑、3台)	9,922,650 円
機械浴槽整備(やまぶきの苑)	9,460,000 円

令和2年度 特別養護老人ホームやまぶきの苑事業報告

1 事業概要

介護保険制度の介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)及び短期入所生活介護(ショートステイ)を実施し、要介護状態となったご利用者等の日常生活を支えるサービスを提供した。

入所状況については、相変わらず重度化傾向は続いていて、医療依存度が高いご利用者や看取りケアの対象者など、対応の難しいケースが増加する中で、入退所のサイクルが早まっていたり、入院を要するケースが増えていたりして、稼働が思ったように伸びず、特養・短期を併せて90%を割り込んだ。協力医療機関である上牧温泉病院の地域連携室との連携を強化するなど、様々な角度から改善を図ったが効果はなく、職員体制も、外国人介護人材の活用なども進めて、やや充足されつつあるが、顕著に結果には現れていない。更に取組を強化し、施設全体で高い稼働の確保を強く意識し、改善を図りたい。

2 サービス提供上の留意点

「尊厳の保持」と「自立支援」という基本理念のもとに、生きがいを持って楽しい日々が過ごせるよう、丁寧な介護を行うことを心掛け、サービス提供してきた。また、介護に携わる職員が笑顔で礼儀正しく、和と協調を重んじることで施設の空気を穏やかで落ちついたものにするよう申し合わせてきた。

また、今年度は「基本ケアのあり方」をテーマに、年間を通じて様々な項目のテキストを共有し、知識・技術の向上を目指して取り組んできた。今後も、基本ケアについて幅広く情報収集を行い、施設として介護力を身につけていきたい。

3 入所(ロング)の利用状況

(1) 市町村別入所者数 年度末(人)

町村名	男	女	計
みなかみ町	10	46	56
沼田市	1	10	11
片品村		1	1
魚沼市		5	5
十日町市		6	6
川崎市		1	1
愛川町		1	1
—			0
—			0
—			0
合計	11	70	81

(2) 年代別内訳 年度末(人)

年代	男	女	計
100歳代	2	2	4
90歳代	4	39	43
80歳代	4	24	28
70歳代		5	5
60歳代	1		1
—			
—			
—			
合計	11	70	81
平均年齢	88.5	90.2	90.0

(3) 入退苑の状況 年度間(人)

区別	月別										R3			計
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
月初在苑者数	83	82	83	84	83	80	81	83	84	86	83	81	993	
入苑者	3	2	3	2	3	4	2	3	3	1	4	3	33	
退苑者	家庭復帰												0	
	他施設			1		1							2	
	入院	1				1	1			3		1	7	
	死亡	3	1	1	3	4	2		2	1	1	6	26	
	計	4	1	2	3	6	3	0	2	1	4	6	3	35
月末在苑者数	82	83	84	83	80	81	83	84	86	83	81	81	991	
うち特例入所者数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	65	
入院者数	6	11	9	12	16	11	11	10	12	11	8	4	121	
入院日数	106	134	115	205	254	250	270	197	244	265	134	61	2,235	
延利用人数	2,370	2,426	2,388	2,419	2,325	2,168	2,319	2,303	2,403	2,379	2,156	2,452	28,108	
特養(ロング)稼働率													85.6%	
特養(ロング)短期入所(ショート)合計稼働率													84.1%	

5 入所待機者数

132名（年度末）

※ 内、要介護度3以上 110名 内訳 [介護度3(55名)、介護度4(36名)、介護度5(19名)]

入所申込みを受けてから数年又は数か月経過し、その後の状態や環境の変化等で、現状の意向はどうなのか、所在等について最新の状況・状態を把握するための現況調査を随時実施した。

入所可能となる介護3以上の方は、名簿上では110名いるが、医療依存度が高く受け入れ困難な方、認知症状強度で特養では対応困難な方、申込みはしてあるが現状ではまだ入所希望のない方等もあり、実際にすぐ入所に繋がる可能性の高い待機者は以前と比較すると減少している。

6 入所検討委員会 12回開催

入所検討委員会については基本的に毎月開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で直接ご本人に会って調査をすることができない時期もあり、委員会での検討が困難なこともあった。空床期間を出来るだけ短くするためにも、入所検討委員会で候補者の選定と併せて次点候補者も選定している。原則介護度3以上の受入となり、医療依存度の高い方の入所の受け入れが増え、医師も入所検討委員会にできる限り出席し、検討している。

7 防災訓練等

消防計画による設備点検及び防災訓練を下記のとおり実施した。避難訓練はご利用者の状態等を考慮して安全に充分留意し、消火・通報訓練は職員を対象に訓練を実施した。

なお、今年度は感染症拡大防止のため、西消防署員の立合はせずに実施した。

- ・ 7月22日 総合訓練(通報訓練、避難訓練、消火訓練等)、昼間想定
- ・ 11月18日 総合訓練(通報訓練、避難訓練、消火訓練等)、夜間想定
- ・ 11月 消防設備点検実施 (委託業者:MKメンテナンス株式会社)

8 実習・ボランティアの受入

- (1) 介護実習 群馬パース大学福祉専門学校より 2名
- (2) 社会体験学習 受入なし
- (3) ボランティア 受入なし

9 感染・衛生対策

- (1) インフルエンザ感染対応
利用者、職員ともインフルエンザの予防接種を実施。本年度は利用者・職員ともに発症者は出なかった。
- (2) 感染性胃腸炎対応
トイレ、手すり、床消毒にハイター消毒液・除菌水を使っての清掃を行い、本年度は発症を防ぐことができた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応
年間を通して面会制限、入館者の検温・問診を実施。職員は検温、手指消毒、手洗い、マスク着用を徹底。手すり、床等はハイター消毒液・除菌水を使用し清掃を行う。現時点では利用者・職員ともに発症者は出ていない。

10 各種会議・委員会

(1) 施設運営会議	毎月1回	(2) リーダー会議	毎月1回
(3) フロア会議・ケース会議	毎月1回	(4) 総務連絡会議	毎月1回
(5) 支援グループ会議	毎月1回	(6) 行事担当者会議	毎月1回
(7) リスクマネジメント委員会	毎月2回	(8) 身体拘束廃止委員会	毎月1回
(9) 感染対策委員会	毎月1回	(10) 褥瘡・排泄委員会	毎月1回
(11) ショートステイ委員会	毎月1回	(12) 実習委員会	随時
(13) レクリエーション委員会	毎月1回	(14) 看取り介護委員会	毎月1回
(15) 生活リハビリ委員会	毎月1回	(16) 広報委員会	随時
(17) 研修委員会	随時	(18) 環境整備会議	毎月1回
(19) 給食委員会	毎月1回	(20) ケアカンファレンス	随時

11 職員研修実績

職員の資質向上を図るため、施設内研修を実施し、外部機関主催研修に積極的に参加した。

(1) 施設内研修の実施状況

・褥瘡・排泄に関する研修(体位交換・クッションの使い方)	6月24日	13名参加
・身体拘束に関する研修(拘束行為の体験・検討)	7月29日	13名参加
・身体拘束に関する研修(認知症ケアの視点より)	10月30日	8名参加
・リスクマネジメント研修(事故予測)	4月～12月	14名参加
・感染症対策研修会(新型コロナウイルス感染症について)	12月1日・2日	15名参加
・感染症対策研修会(ガウンテクニック研修)	3月3日	22名参加
・感染症予防・対策事業 訪問指導	3月17日	7名参加

(2) 外部機関主催研修参加状況

・一緒にやろうCOVID-19対策	7月3日	4名参加
・事例検討会	7月17日	2名参加
・安全運転管理者法定講習	7月30日	1名参加
・災害時における利用者のトリアージについて	8月17日	2名参加
・ケアプラン特化型 連続オンライン講座 第2回	9月29日	2名参加
・災害対策机上訓練	10月16日	2名参加
・認知症ケアについて	10月22日	1名参加
サルコペニアと低栄養の最新の話	10月23日	1名参加
・ケアプラン特化型 連続オンライン講座 第3回	10月28日	2名参加
・介護職種向け口腔機能管理研修	11月6日	1名参加
・ケアプラン特化型 連続オンライン講座 第4回	11月25日	2名参加
・一緒にやろうCOVID-19対策～the 2nd～	7月3日	4名参加
・ケアプラン特化型 連続オンライン講座 第5回	12月16日	2名参加
・防護服着脱訓練	12月22日	1名参加
・令和3年度介護報酬改定に関する講演	2月25日、26日	5名参加
・経管栄養カテーテルのISO規格への変更とその関連情報	2月26日	1名参加
・福祉施設におけるBCPセミナー	3月2日	3名参加
・身体拘束廃止に関する研究会	3月8日	1名参加
・事例検討会	3月11日	2名参加
・令和3年度 介護報酬改定(栄養関連)の背景とポイント	3月19日	1名参加

12 行事实績

今年度は感染症の流行により、外出や苑外の方を招いての行事が出来なくなり、当初の計画通りの実施は難しかったが、毎月一回程度、ご利用者に楽しんでいただくための行事を開催することができた。

月	期 日	行 事 内 容	会 場	参加人数
4	15日、16日	お花見	町内(ドライブ)	13名
5	10日	母の日	各フロア	60名
6	21日	父の日	各フロア	60名
7				
8	12日	盆供養	各フロア	90名
	26日	納涼祭	各フロア	90名
9	15日、16日、29日	旬を味わう会(ぶどう)	各フロア	90名
10	14日、20日、27日	旬を味わう会(りんご)	各フロア	90名
11	11日、17日、18日	旬を味わう会(さつまいも)	各フロア	90名
12	15日、16日22日	クリスマス会	各フロア	90名
1	12日、13日、20日	新年会	各フロア	90名
2	2日、3日	節分	各フロア	90名
3	10日	ひな祭り(餅つき)	各フロア	90名

令和2年度 月夜野デイサービスセンター事業報告

1 事業概要

日常生活上支援が必要になってもできる限り自立した生活が送れるよう、ご利用者やご家族のニーズを把握し、社会参加の幅を広げ、社会性を維持継続することを目指して、日帰りで、様々な角度からプログラムを検討し、サービス提供してきた。

また、新型コロナウイルスによる利用控えや感染対策による縮小営業の実施の中、今年度も昨年度同様の稼働率を維持することが出来た。新型コロナウイルスの感染対策の徹底、PR活動を強化し、年間を通して利用者数の底上げを図っていく。

2 サービス提供上の留意点

介護保健法の基本理念である「自立支援」「尊厳の保持」を理念、基本方針とし、「利用者1人1人の個をみつめる」ことを重点にサービスを提供してきた。サービス内容については、温泉浴、立地や環境を活かした野菜作り、散歩など、ご利用者の希望するプログラムを取り入れ、チームワークを活かしてサービス提供することを第一に心がけて取組を進めてきている。

また、「ケアの質の向上」を目指し、各関係機関の研修に積極的に参加し、介護技術の向上、サービスを提供するプロとしての意識の向上に努めてきた。

3 利用状況 開所日数 309日 稼働率 59.7%

(1) 年代別内訳

年度末(人)

年代	男	女	計
100歳代		1	1
90歳代	10	23	33
80歳代	6	29	35
70歳代	2	1	3
合計	18	54	72
平均年齢	86.9	88.5	88.16

(2) 登録の状況

年度間(人)

区分	男	女	計	
新規契約	3	12	15	
契約解除	他施設	6	10	16
	死亡	0	3	3
	その他	0	0	0
	計	6	13	19

(3) 利用者数(延人員)

(人)

介護度	月別	R2										R3			計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
介護	要介護 1	198	181	193	213	198	210	201	188	196	159	158	189	2,284	
	要介護 2	101	122	118	119	118	113	103	99	98	98	95	111	1,295	
	要介護 3	37	35	47	59	69	79	77	85	75	61	63	49	736	
	要介護 4	35	33	34	31	30	29	18	12	13	12	20	16	283	
	要介護 5	12	13	11	13	11	12	13	12	13	12	11	14	147	
	計	383	384	403	435	426	443	412	396	395	342	347	379	4,745	
	自費利用														
	事業対象者	3		3	4		2	4	4	3	3	4		30	
支援	要支援 1	13	13	13	13	12	9	9	9	7	8	8	9	123	
	要支援 2	57	46	60	63	51	54	51	48	46	43	46	72	637	
	計	73	59	76	80	63	65	64	61	56	54	58	81	790	
	合計	456	443	479	515	489	508	476	457	451	396	405	460	5,535	
														平均要介護度(介護)	1.89
														平均要介護度(支援)	1.77

(4) 諸加算の状況(延人員)

(人)

項目	月別										R3			計
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入浴加算	380	382	402	433	422	432	392	380	375	323	323	354	4,598	
中重度ケア体制加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サービス提供体制	383	384	403	435	424	443	412	396	395	342	347	379	4,743	
処遇改善加算Ⅰ(5.9%、総単位数)	18392	18546	19926	21323	20931	21795	20168	19555	18857	16843	17235	18436	232,007	
特定処遇改善加算Ⅱ(総単位数)	3743	3772	4056	4338	4259	4437	4105	3978	3838	3423	3503	3757	47,209	

4 年間行事

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、外出や施設外の方を招いての行事は中止としたため、当初の計画に沿った実施は出来なかった。

実施月日		行事名	場 所	参加人数等
4月	6-8日	お花見	月夜野町内	40名
5月		水仙まつり見学(中止)	ノルンスキー場	
7月	22日	避難訓練	デイ、ホール	20名
		夏祭り(中止)	デイ、ホール	
8月	13-14日	ビアガーデン	デイ、ホール	50名
9月		ぶどう狩り(中止)	富実フルーツ	
10月		そば打ち(中止)	デイ、ホール	
		ほうき草ドライブ(中止)	新治 伊賀野の花畑	
11月	10-12日	紅葉ドライブ	高山村方面	55名
	24-26日	運動会	デイ、ホール	60名
12月	23-25日	クリスマス会	デイ、ホール	65名
1月	7-8日	餅つき大会	デイ、ホール	50名
2月	2-4日	節分豆まき	デイ、ホール	40名
		握り寿司実演(中止)	デイ、ホール	
3月	2-3日	ひな祭り	デイ、ホール	40名
	25日	避難訓練	デイ、ホール	20名

5 アクティビティ

(1) 創作活動

- ・室内装飾品づくり …… 干支の壁掛け、干支の置物、花壁掛け、ネズミ、
- ・季節の風物詩づくり …… 鯉のぼり、七夕飾り、チューリップ、小正月のだんご、雛人形
- ・手作りおやつ …… 4月：三色団子 5月：抹茶どら焼き 6月：あんみつ
7月：紫陽花和菓子 9月：月見饅頭 10月：カボチャ饅頭
11月：ネギ焼き 12月：麩ラスク 2月：チョコまん
3月：桜餅

(2) 集団レクリエーション …… 週変わりのプログラムで実施

(3) その他 …… 変わり湯(ゆず湯)

6 地域交流

- (1) 中学生福祉体験 受入なし
- (2) ボランティア 受入なし

7 研修受入

- (1) 社会体験学習 受入なし
- (2) 介護実習 受入なし

8 広報活動等

- (1) 誕生日色紙、花束贈呈(誕生日に近い利用日)
- (2) 行事の都度ご利用者様への写真を配布
- (3) 町の文化祭への作品発表(干支の壁掛け・やまぶきの花壁掛け)

9 ケアカンファレンス

全員参加による月1回のケアカンファレンスを実施。また、初回、ADL変化時、介護者からの依頼等様々な状況に対し生活相談員・看護師・担当ケアワーカーにて随時実施した。

10 職員研修

職員の技能、知識向上のため随時参加

- (1) 施設内研修の実施状況
 - ・リスクマネジメント防止研修 2月～ 3名参加
- (2) 外部機関主催研修参加状況(オンライン研修等)
 - ・一緒にやろうCOVID-19対策～the 2nd～ ### 2名参加
 - ・災害時における利用者のトリアージについて ### 1名参加
 - ・令和3年度介護報酬改定に関する講演 2月26日 1名参加
 - ・新規格コネクタ取り扱い説明会 ### 2名参加

11 個別機能訓練

・実人数 13名 (男性:2名、女性:11名)

12 健康管理

- (1) 体重測定 定期測定 …… 4月・6月・8月・10月・12月・2月
その他 …… 身体状況、計画状況に応じ週1回、月1回等実施
- (2) 体操 毎日、休養後プログラム前に実施
- (3) 口腔ケア 毎食後、義歯洗浄、口腔内すすぎ等実施
- (4) 季節インフルエンザ予防接種依頼等書面にて配布

令和2年度 グループホームやまぶきの苑事業報告

1 事業概要

小さい単位のグループ(9名)で、家庭に近い環境づくりと地域との交流を心がけ、認知症の進行を穏やかにするとともに、ご利用者個々の有する能力に着目して、できる限り自立した生活を送れるよう支援した。

2 サービス提供上の留意点

ご利用者を個別にありのままに受け入れ、一人ひとりの時間を大切にしながら、それぞれに役割を持ち活力ある生活を送れるよう支援した。また、ご家族との接点を大切にすることを意識し、こまめな情報発信を心がけた。

なお、昨年度にも増してご利用者の重度化傾向は進んでいて、ほぼ看取り状態に近いケースもあって、3大介護でも、食事では自力摂取困難者が、入浴ではリフト浴対応が、排泄では全介助も含めて支援を要するケースが大幅に増加しており、職員の負担感も増している。今後は、グループホームという施設の機能に照らしてサービスの幅を見直し、リスク軽減も含めて、ふさわしいサービス体制を構築していく。

3 利用状況

年度末における待機登録者数 4人

(1) 年代別内訳

年度末(人)

年代	男	女	計
90歳代		3	3
80歳代	1	5	6
70歳代			0
60歳代			0
合計		9	9
平均年齢(歳)			88.7

(2) 入退所の状況

年度間(人)

区分	男	女	計
入 所	1	3	4
退 所	他施設	1	1
	死 亡	1	1
	その他	2	2
	計	1	7

(3) 利用者数(延人員)

(人)

介護度	月別	R2.										R3.			計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
介 護	要介護 1	30	31			37	60	62	60	62	62	62	56	62	522
	要介護 2	46	62	84	62	62	60	62	60	62	62	56	62	740	
	要介護 3	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	78	78	1,074	
	要介護 4	30												30	
	要介護 5	70	93	90	87	62	60	62	60	48	62	56	62	812	
計		266	279	264	242	254	270	279	270	265	279	246	264	3,178	
													平均要介護度(介護)	2.96	
													稼働率	96.74 %	

ショート利用者数(延人員)

(人)

介護度	月別	R2.										R3.			計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
介 護	要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
													平均要介護度(介護)		

4 年間行事

実施月日		行事名	場所	参加人数 利用者(家族)
4月	14、27日	お花見	矢瀬親水公園	9名
	23日	焼きそばランチ	ホール	9名
5月	12日	お弁当ランチ	ホール	9名
	29日	自主避難訓練	ホール	9名
6月	24日	おやつレク(クレープ作り)	ホール	9名
7月	7日	七夕	ホール	9名
	16日	おやつレク(あんみつ)	ホール	9名
	28日	自主避難訓練	ホール	9名
8月	13日	盆供養・おはぎ作り	ホール	9名
	26日	神輿来苑見学	ホール	9名
9月	20日	室内運動会	ホール	9名
	21日	敬老の日	ホール	9名
	28日	自主避難訓練	ホール	9名
10月	21日	焼きそばランチ	ホール	9名
	28日	紅葉ドライブ	水紀行館	9名
11月	10日	寿司ランチ	ホール	9名
	10日	消防訓練(MKメンテ立ち会い)	ホール	9名
12月	13日	すいとん作り	ホール	9名
	25日	クリスマス会	ホール	9名
	28日	餅つき・お飾り	ホール	9名
1月	8日	餃子作り	ホール	9名
	12日	白玉ぜんざい	ホール	9名
2月	3日	節分(恵方巻作り、豆まき)	ホール	9名
3月	3日	ひな祭り	ホール	9名

5 余暇活動

- (1) 創作活動 ・手作りおやつ ・お誕生日会 ・畑仕事
- (2) その他 ・毎日午前中、健康体操・午後レクリエーション実施
(輪投げ、散歩、日光浴、風船バレー、歌、かるたとり、ぬりえ、折り紙、計算問題 他)

6 地域交流

コロナ禍による感染防止の為、下記に記載した予定はすべて中止となる

- ・町文化祭参加及び見学
- ・いきいきサロン川角参加
- ・マンドリン演奏・傾聴ボランティア
- ・北小学校運動会見学及び参加
- ・ガールスカウト訪問、交流

7 職員研修

(1) 施設内研修

- ・身体拘束廃止会議(奇数月)

(2) 外部機関主催研修

- ・「災害時における利用者のトリアージについて」(8/17, 1名参加)
- ・「新型コロナウイルス感染対策に係る研修会」(12/22, 1名参加)
- ・人生の最終段階における医療、ケアを考える講習会(9/7, 1名参加)

8 健康管理

- ・体重測定(毎月月末)
- ・バイタル測定(1日1回、入浴日は入浴前にも実施)
- ・体操(午前)
- ・健康診断実施(年1回、3月)
- ・かかりつけ医、定期受診(1~2カ月に1回)
- ・インフルエンザ予防接種
- ・管理栄養士による、嚥下やそしゃく状況及び嗜好等の確認(毎月)

9 消防訓練

- ・5月、7月、10月、11月、1月、3月に、昼・夜間想定で実施。
(内、11月は西消防署立ち会いのもと消防訓練を実施予定でしたが、コロナ禍の為中止となる。
11/10に消防設備会社のMKメンテナンスによる消防設備機器の作動確認を含め、避難訓練を実施

10 地域運営推進会議

- ・奇数月の第2木曜日に開催予定(5/12, 7/9, 9/10, 11/12, 1/14, 3/11)でしたが、コロナ禍による感染防止の為、7/19のみ実施。5月、9月、11月、1月、3月については行政の指導のもと、書面で報告行う。

11 外部評価

- ・外部評価隔年実施に係る適用の要件を満たし、本年度は省略することを承認される。
(令和2年11月30日・介高第30124-5号)

令和2年度 居宅介護支援事業所事業報告

1 事業概要

支援実績は月平均96人(要介護・要支援合算)と前年に比べ10人減となり、特に要支援者の減少が大きい。原因としては新型コロナウイルスの感染拡大に伴う利用控えがひとつの要因になっている。

加算に関しては、特定事業所加算の継続的な取得に重点を置き取り組み、減算を出すことなく取得を継続することができたが、全体的な利用者減に伴い初期加算等は減少となってしまった。

また、その他の加算も昨年同様、病院や老人保健施設との連携の強化を図り真摯に取り組んできたが、結果としては昨年比の7割ほどになってしまった。

認定調査については、認定期間の延長に伴い認定調査自体の減少によるものである。

2 サービス提供上の留意点

介護保険法の基本理念である「自立支援」「尊厳の保持」を理念・基本方針とし、対人援助専門職として「利用者のこれからの生活と人生を共に考えていく」ことを重点に置き支援を行ってきた。

また、中立公正性を確保し、実質的にサービス提供事業所からの独立性を確保した上で、支援サービスの提供に努めた。(特定事業所集中減算非該当)

また、地域福祉の一翼を担うものとして、行政や地域包括支援センター、医療機関や地域及びサービス事業所との連携を図り、地域包括ケアシステムの構築に向け、課題の掘り起こしや共有、課題解決に向け取り組んできた。また、今年度も地域の他の居宅介護支援事業所と合同で研修会を開催。町の担当を交え介護保険制度やルールの再確認を行い、介護保険制度の適正化に取り組んできた。

研修に関しては、今後の超高齢社会に対応し、認知症や看取り、また医療関連の研修へ積極的に参加し、専門性を高められるよう自己研鑽を行うと共に、ケアマネジメントの基礎を改めて確認した。

また、令和3年度の介護保険法及び報酬改正に向け積極的に情報収集を行い、改正に伴う混乱を最小限に留められるよう努めた。

3 利用状況 営業日数 240日

(1) 要介護別利用者数内訳

年度間(人)

介護度		月別										R3			計
		R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
介護	要介護 1	28	27	25	26	26	27	29	28	28	28	28	26	28	326
	要介護 2	21	22	25	25	24	26	24	24	20	19	21	21	272	
	要介護 3	11	8	11	10	10	11	11	11	10	11	12	8	124	
	要介護 4	8	9	8	8	8	7	8	7	7	6	7	9	92	
	要介護 5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	46	
計		72	70	73	73	72	75	76	74	69	68	69	69	860	
内訳	男	22	21	22	21	21	20	21	20	19	20	21	22	250	
	女	50	49	51	52	51	55	55	54	50	48	48	47	610	
支援	要支援 1	8	8	8	9	8	9	10	10	10	10	7	7	104	
	要支援 2	15	14	15	16	16	15	15	16	17	17	16	18	190	
	計	23	22	23	25	24	24	25	26	27	27	23	25	294	
合計		95	92	96	98	96	99	101	100	96	95	92	94	1,154	
													平均要介護度(介護)	2.14	
													平均要介護度(支援)	1.65	

(2) 諸加算の状況

(人)

項目		月別										R3			計
		R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
特定事業所加算Ⅲ		72	70	73	73	72	75	76	74	69	68	69	69	860	
初回加算		0	2	3	3	2	3	1	2	0	0	5	3	24	
退院・退所加算		1	1	0	1	1	0	3	0	0	1	0	0	8	
入院時情報連携加算Ⅰ		4	1	0	5	3	2	4	4	0	3	4	2	32	
入院時情報連携加算Ⅱ		0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4	
介護予防初回加算		0	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	2	8	

(3) その他

(人)

項目		月別										R3			計
		R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護認定調査		0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	7	

令和2年度 介護老人保健施設からたちの丘事業報告

1 事業概要

介護老人保健施設(短期入所療養介護)は、病院等を退院された方や在宅生活が困難な方を受け入れ、看護・介護を必要とする高齢者に対して日常生活の支援を行い、自立した日常生活を営むことができるよう、個々の身体状況に合わせたリハビリテーションを提供している。

また、老健の役割である在宅復帰施設として、一定の基準を満たし、加算型を維持している。

通所リハビリテーションについては、施設に通っていただき日常生活の支援を行い、自宅での生活が継続できるようにリハビリテーション等の提供をしている。

2 サービス提供上の留意点

令和2年度は、入所サービスでは稼働率89.3%と前年から3ポイント下がった。

新型コロナウイルス感染症が国内で流行し、入退所に制限がかかり稼働に影響を与えた。

通所は、1日の平均利用者数が13.8人から12.4人と1.4人下がった。

通所においても新型コロナウイルス感染症の影響で、利用中止をする利用者や、発熱後の経過観察で1週間程度の利用を控えていただく利用者もいたため利用者数に影響がでる結果となった。

現在までに新型コロナウイルス感染症に感染した職員や利用者はいないため、サービスの提供ができているが、感染者が発生した際には大きな影響を受けるため感染対策を徹底したい。

新型コロナウイルス感染症の流行が治まるまで、稼働は厳しい状況である。

3 入所(ロング)の利用状況

(1) 市町村別入所者数 年度末(人)

町村名	男	女	計
渋川市	4	12	16
みなかみ町		4	4
昭和村	1		1
沼田市		1	1
中之条町	1	1	2
東吾妻町		1	1
魚沼市	1	1	2
南魚沼市	1	2	3
十日町市	4	1	5
津南町	1		1
合計	13	23	36

(2) 年代別内訳 年度末(人)

年代	男	女	計
90歳代	2	12	14
80歳代	8	10	18
70歳代	2	0	2
60歳代	1	1	2
合計	13	23	36
平均年齢(歳)	83.1	88.5	86.6

(3) 入退所の状況 年度間(人)

区別	月別										R3			計
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
月初在所者数	33	34	31	34	35	38	36	32	34	38	38	38	421	
新規入所者	6	3	5	3	5	3	2	5	5	1	2	0	40	
退所者	在宅復帰		2		1		2	2		1		2	10	
	他施設	2	1	1	1		2	1	2		1		11	
	入院	3	3	1		2	1	2	1	1		1	15	
	死亡							1					1	
	計	5	6	2	2	2	5	6	3	1	1	2	2	37
月末在所者数	34	31	34	35	38	36	32	34	38	38	38	36	424	
延利用人数	1,010	1,061	1,001	1,054	1,123	1,107	1,052	1,022	1,173	1,186	1,077	1,156	13,022	
入所(ロング)稼働率													89.2%	
入所(ロング)、短期入所(ショート)合計稼働率													89.8%	

(4) 要介護状態区分(延人員)

年度間(人)

介護度	月別												計
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3	1	
要介護 1	0	15	30	31	31	30	31	12	45	82	84	62	453
要介護 2	237	278	240	259	247	259	308	300	309	310	280	301	3,328
要介護 3	470	454	442	437	478	390	378	425	403	391	335	372	4,975
要介護 4	130	143	160	141	118	134	73	60	114	93	98	111	1,375
要介護 5	173	171	129	186	249	294	262	225	302	310	280	310	2,891
計	1,010	1,061	1,001	1,054	1,123	1,107	1,052	1,022	1,173	1,186	1,077	1,156	13,022
												平均要介護度	3.22

(5) 諸加算の状況(延人員)

年度間(人)

項目	月別												計
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3	1	
サ提供加算 I 1	1010	1061	1001	1054	1123	1106	1052	1022	1173	1186	1077	1156	13,021
在宅復療援加算 I	1010	1061	1001	1054	1123	1106	1052	1022	1173	1186	1077	1156	13,021
夜勤職員配置加算	1010	1061	1001	1054	1123	1106	1052	1022	1173	1186	1077	1156	13,021
口腔衛生体制加算	39	37	36	37	40	41	38	37	39	39	40	38	461
短期集中リハ加算	122	196	180	154	162	172	167	203	293	255	224	93	2,221
認短期集中リハ加算	65	89	83	76	89	97	78	110	151	118	108	53	1,117
栄養マネジメント加算	979	1050	981	1034	1102	1086	1042	996	1155	1183	1069	1156	12,833
療養食加算	656	760	810	845	1015	965	854	1005	930	930	907	930	10,607
初期加算	84	91	92	66	97	118	70	105	162	45	53	17	1,000
入前後指加算 II 2	4	2	1	1	4	1	1	2	2	0	0	0	18
退時情報提供加算	0	2	0	1	0	2	2	0	0	1	0	2	10
退所前連携加算	0	2	0	1	0	2	2	0	0	1	0	2	10
処遇改善加算 I (総単位数の3.9%)	425,972	427,779	400,980	455,124	452,386	459,859	446,839	418,529	511,723	494,373	444,863	473,788	5,412,215
特定処遇改善加算 I (総単位数の2.1%)	229,414	230,321	215,901	245,064	243,571	247,608	240,581	1,156,062	275,536	266,168	239,528	255,125	3,844,879

4 短期入所(ショート)の利用状況(空床利用)

(1) 利用の状況(延人員)

年度間(人)

介護度	月別												計	
	R2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3	1		2
介護	要介護 1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	要介護 4	2	0	6	7	7	2	6	7	11	8	0	2	58
	要介護 5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
支援	要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	0	10	11	7	2	6	9	11	8	0	2	82	
												平均要介護度(介護)	3.85	
												平均要介護度(支援)	0.00	

※	サービス提供加算 I 2	7	6	6	5	5	5	5	5	4	3	2	4	57
	処遇改善加算 I (総単位数の4.7%)	15,636	13,562	13,562	11,488	11,488	11,488	11,488	9,414	11,122	7,340	5,266	9,414	131,268
	特定処遇改善加算 I (総単位数の2.0%)	6,665	5,781	5,781	4,897	4,897	4,897	4,897	4,013	4,745	3,129	2,245	4,013	55,960

6 防災訓練

消防計画による設備点検及び防災訓練を下記のとおり実施した。避難経路、消火方法等の確認を行っ

・4月28日 総合訓練(設備確認、避難訓練資料配布等)
消防設備点検実施 委託業者 (株)アソート

・11月20日 総合訓練(通報訓練、避難訓練、消火訓練等) 渋川広域消防署東分署立ち会い
入所(夜間想定)、通所リハ(昼間想定)
消防設備点検実施 委託業者 (株)アソート

7 感染・衛生対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

職員の出勤前検温を実施。体調不良者については、出勤を停止して必要に応じPCR検査を実施した。

施設内の定期的な換気及び消毒も実施。これらの取り組みを1年を通して実施した。

また、不要不急の外出自粛を要請し感染拡大の防止に取り組んだ。

施設内で感染者が発生した場合を想定した研修を行い、対応方法を確認し必要な物品を揃えた。

(2) インフルエンザ対策

利用者、職員ともインフルエンザの予防接種を実施。その他は、新型コロナウイルス感染症対策と同様。

8 各種会議・委員会

- | | | |
|-------------------|------|------------------------|
| (1) 運営会議 | 毎週1回 | (施設運営に関することの検討) |
| (2) 通所会議 | 毎週1回 | (通所利用者及び業務・環境等の検討) |
| (3) 看護・介護ミーティング | 毎月1回 | (看護業務に関する打合せ) |
| (4) 看護ミーティング | 毎月1回 | (看護業務に関する打合せ) |
| (5) 入所検討会議 | 毎週1回 | (新規入所者及び入所中利用者の検討) |
| (6) 給食会議 | 毎月1回 | (給食に関する打合せ) |
| (7) 行事担当者会議 | 毎月1回 | (行事に関する打合せ) |
| (8) 身体的拘束適正化検討委員会 | 毎月1回 | (身体的拘束等の適正化に関する会議等の開催) |
| (9) 褥瘡対策委員会 | 毎月1回 | (褥瘡に関する会議等の開催) |
| (10) 感染対策委員会 | 毎月1回 | (感染に関する会議等の開催) |
| (11) リスクマネジメント委員会 | 毎月1回 | (事故防止・事故発生の検証等についての検討) |

9 職員研修実施状況

(1) 施設内研修の実施状況

4月20日、23日	感染対策研修会(新型コロナウイルスについて)	37名 参加
9月17日～25日	感染対策研修会(新型コロナウイルスが施設内で発生した場合に備える)	38名 参加
8月～9月	リスクマネジメント研修会(トロミの付け方)	34名 参加
11月～12月	身体的拘束等適正化検討委員会研修(具体的事例検討)	36名 参加
11月19日	感染対策研修会(嘔吐物処理)	36名 参加
12月24日～1月22日	リスクマネジメント研修会(救急対応)	38名 参加
3月8日～26日	身体的拘束等適正化検討委員会研修(虐待事例)	32名 参加

(2) 外部機関主催研修参加状況

令和2年 9月25日	高齢者の食支援を考える(オンライン研修)	3名参加
10月23日	食物アレルギーの食事と管理(オンライン研修)	1名参加
12月22日	ストレス対策(アンダーマネジメント)(オンライン研修)	1名参加
12月12日	栄養担当職員研修会(オンライン研修)	1名参加
令和3年 1月21日	在宅復帰に向けたリハビリテーション(オンライン研修)	1名参加

10 行事実績

月	期 日	内 容	会 場
4 月	4月15日	花見	1Fホール
6 月		あじさい狩り	施設周辺
7 月	7月7日	七夕	1, 2Fホール
8 月	8月10日	盆供養	1, 2Fホール
9 月	9月10日	納涼際	1Fさくらホール
	9月24日、25日	敬老祝	各フロア
10 月	10月29日	運動会	1Fさくらホール
11 月	11月1日～	施設内作品展	1FEV前ホール
12 月	12月23日	クリスマス会	1Fホール
1 月	1月21日	まゆ玉作り	各フロア
2 月	2月3日	節分	各フロア
	2月1日	バレンタイン	各フロア
3 月	3月3日	ひな祭り	各フロア
通年	毎月1回	誕生日会	各フロア